

各 協 会 の 長 殿

公益財団法人青森県建設技術センター
理事長 星 野 明
(公 印 省 略)

橋梁点検技術研修会参加者募集について（協力依頼）

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

日頃より、当センターの運営につきましては格別のご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当センターでは、建設業及び建設関連業に携わる方々に対しまして、青森県が制定した「青森県橋梁点検運営マニュアル」及び「橋梁点検ハンドブック」に基づき、橋梁点検業務に必要な技術の習得を図ることを目的に「橋梁点検技術研修会」を開催することといたしました。

つきましては、開催にあたり貴協会に所属する会員の皆様に広く受講していただきたく、別添「橋梁点検技術研修会募集要項」を送付いたします。また、今年度から当研修会の修了証が更新制度へ移行しますので別紙「梁点検技術研修会修了証の更新制度への移行について」についても、併せて貴協会員への周知方につきましてご協力をいただきますようお願い申し上げます。

なお、当センターホームページ（URL:<http://www.akgc.or.jp/>）でも6月15日（月）から掲載することとしております。

記

- 1 研修会開催日程
平成 2 7 年 7 月 2 2 日（水）～平成 2 7 年 7 月 2 4 日（金） 3 日間
- 2 添付資料
橋梁点検技術研修会募集要項 1 部
梁点検技術研修会修了証の更新制度への移行について 1 部



研修事務局 : (公財) 青森県建設技術センター
業務部 研修試験課
担 当 : 堀内、諏訪
TEL : 017-777-6545
FAX : 017-777-6646

平成27年度

橋梁点検技術研修会募集要項

継続学習制度（CPDS）認定研修

登録番号313544

ユニット数：13unit

開催月日

平成27年7月22日（水）から

平成27年7月24日（金）までの3日間

研修会場

青森県水産ビル 7階 大会議室

現地研修

青森県内橋梁

(公財) 青森県建設技術センター

橋梁点検技術研修会募集要項

この研修会は、青森県が制定する「青森県橋梁アセットマネジメント運営マニュアル」に基づいた橋梁定期点検に必要な技術の習得を主眼に実施するものである。

なお、今年度より当研修会の修了証は有効期間を設けた更新制度へ移行します。修了証取得後5年ごとの定期的な更新研修を受講しないと修了証が失効となります。

記

1. 研修会の内容

1. 目的

橋梁の細部にわたる異常や損傷を発見するとともに劣化・損傷の発見、劣化機構の推定、健全度評価を行うことのできる橋梁点検技術者を養成することを目的とする。

2. 日時

平成27年7月22日(水) 午前10時30分(受付10時00分から)～7月24日(金) 午後1時頃

3. 研修内容

詳細：別紙-1 橋梁点検技術研修会プログラム

4. 会場

① 平成27年7月22日・23日 : 水産ビル 7階 大会議室 (別紙-2)

② 平成27年7月24日 : 青森県内実地研修対象橋梁

※会場には駐車場がございませんので、公共交通機関等をご利用して下さい。

5. 受講資格

土木施工管理・設計に関する実務経験年数が下表を満たす者。

学歴区分※1	土木施工管理・設計に関する実務経験年数	
	指定学科※2	指定学科以外
大学卒業生	1年以上	1年6ヶ月以上
短期大学卒業生 高等専門学校(5年制)卒業生	2年以上	3年以上
高等学校卒業生	3年以上	4年6ヶ月以上
その他の者	8年以上	

※1 学校教育法によらない専門学校、訓練校は最終学歴にはなりません。

※2 指定学科：(2級土木施工管理技士検定学科試験受験資格を準用：別紙-3)

6. 定員

40名(実橋点検研修を行うため、バスの定員40名×1台)

7. 受講料及びテキスト代

- ・ 受講料：40,000円/人(テキスト代、消費税含む)

8. 試験

・ 筆記試験

橋梁構造の基本的な知識に関すること。

橋梁の点検及び健全度評価、劣化機構の推定等研修内容に関すること。

・ 実地試験

青森県内の実橋を点検のうえ点検調書作成

9. 修了証

- ・ 全ての講義を受講(遅刻、早退は認めません)し、筆記試験及び実施試験に合格した方に修了証(有効期間：発行日から平成32年度末)を交付します。

II. 申込み方法

1. 申込み方法

- ・ 「受講申込書（別紙-4）、実務経験証明書（別紙-5）」に必要事項を記入の上、返信用封筒（返信先記入、切手貼付）を同封して下記申込み先（VI. 事務局）に送付して下さい。
- ・ 申込みは個人毎にお願いします。
- ・ 必要書類は、当センターホームページ※から[受講申込書、実務経験証明書]をダウンロードして使用してください。
※(公財)青森県建設技術センターホームページ URL：<http://www.akgc.or.jp/>
- ・ 受講申込書に顔写真を1枚貼付けし、その他に修了証に貼付けする顔写真を1枚同封して下さい。写真をクリップ等ではさむと写真が歪んだり傷がつきますので小さい封筒等に入れて同封してください。
- ・ 写真のサイズは、縦30mm×横24mmで、カラー写真。また、写真裏側に氏名・所属会社名を記入してください。

2. 申込み期間

平成27年6月15日(月)～7月10日(金)

この期間の到着分を有効とします。但し、先着順とし、定員に達した場合は締めきります。

3. 注意事項

- ・ 大型封筒による複数人分の一括送付、返信用封筒の同封が無いものは無効となります。

III. 受講者決定後の手続き

1. 受講者の決定

- ・ 受講希望者が定員を超えた場合は先着順とし、その結果を郵便で7月13日(月)までに受講希望者全員に発送します。
- ・ 返信郵便が届かない場合は、下記申込み先（VI. 事務局）にお問い合わせ下さい。
- ・ 受講決定者には、受講料納入通知書を同封します。

2. 受講料の納付

- ・ 受講決定者に受講料（テキスト代、消費税含む）の納入通知書を郵送しますので、7月15日(水)までに当センター指定銀行口座へ振り込み入金して下さい。
また、事前に入金が確認できない場合は、受講資格を取り消します。
- ・ 研修会当日欠席された方には、受講料返金はできませんのでご注意ください。
ただし、研修会に使用しましたテキストは郵送させていただきます。

3. 受講者の受付

- ・ 研修会の当日、講習会納入通知書の控えが受講票となりますので（コピー可）を必ず持参し、受付で確認を受けてください。

4. 注意事項

- (1) 7月10日(金)以降の受講者の変更は認めません。
- (2) 受講料納入後のキャンセルは欠席扱いとなります。その際は受講料の返金はできませんのでご注意ください。
- (3) 研修当日は下記を持参してください
 - ・ 筆記用具
 - ・ ヘルメット（現地研修）

IV. 使用テキスト

- ・ 橋梁点検技術研修会テキスト
- ・ 青森県橋梁アセットマネジメント運営マニュアル
 ・・・青森県県土整備部
- ・ 損傷事例の評価
- ・ 橋梁点検ハンドブック（1）橋梁点検のポイント
 ・・・R P I（一財）大阪地域計画研究所 B M S コンソーシアム
- ・ 橋梁点検ハンドブック（2）定期点検の手引き
 ・・・R P I（一財）大阪地域計画研究所 B M S コンソーシアム
- ・ その他
 上記のテキストとともに研修会当日に配布いたします。

V. CPDSについて

- ・ 本研修会はCPDS認定プログラムとして承認されています。
- ・ プログラム登録番号は「313544」です。
- ・ ユニット数は「13unit」となります。
- ・ 3日間全て出席された方に受講証明書を配付します。
- ・ 学習プログラムは各自で申請して下さい。

VI. 研修事務局

1. 申込み先

（公財）青森県建設技術センター 研修試験課
〒030-0822
青森市中央三丁目21-9
TEL：017-777-6545 FAX：017-777-6646
担当者 研修試験課：堀内、諏訪

2. その他

- ・ 当センター事務局職員は「夏期の軽装」実施中につき、暑さをしのぎやすい服装で対応させていただきますので、あらかじめご了承くださいようお願い申し上げます。

橋梁点検技術研修会プログラム

第1日目 7月22日(水) 研修会場：水産ビル 7階 大会議室		
時間	内容	講師
10:30~10:35	オリエンテーション	
10:35~10:40	開会挨拶	(公財) 青森県建設技術センター
10:45~12:00	青森県橋梁AM運営マニュアル	青森県県土整備部道路課 橋梁・アセット推進グループ
12:00~13:00	昼 食	
13:00~14:30	橋梁点検ポイント	(一財) 大阪地域計画研究所 研究員
14:40~16:40	コンクリート橋の点検 (下部工の点検を含む)	千葉 陽子
第2日目 7月23日(木) 研修会場：水産ビル 7階 大会議室		
9:00~10:50	鋼橋の点検	(一社) 日本構造物診断技術協会 診断士会役員
11:00~12:30	損傷程度の評価例 (H16年点検橋梁)	島辺 政秀
12:30~13:30	昼 食	
13:30~15:00	筆記試験 (橋梁構造の基本、点検の知識)	受講者
15:10~16:00	橋梁点検の実務 (点検作業の手順)	青森県県土整備部道路課 橋梁・アセット推進グループ
第3日目 7月24日(金) 県内現地研修		
08:40~09:00	集 合	
09:00~10:00	現地へ移動 (バス)	
10:00~10:10	現地研修	事前説明
10:10~11:30		実橋の点検
11:30~12:30	現地から移動 (バス) 解散	(公財) 青森県建設技術センター
		受講者

※ 都合により講師、プログラム等一部変更する場合があります。

研修会会場について

研修会場：水産ビル7階 大会議室
駐車場はございませんので、公共交通機関等をご利用下さい。
青森市安方 1-1-32
Tel : 017-722-4211



指 定 学 科 に つ い て

指定学科については、2級土木施工管理技士検定学科試験受験資格を準用する。

国土交通省令で定める学科及びそれに準ずると認める学科

学校教育法による大学・短期大学・高等専門学校(5年制)・高等学校を卒業された方に共通する指定学科です。

学 科 コード	指 定 学 科			
01	土木(工学)科 開発工学科 環境整備工学科 建設技術科 建築土木科 社会建設工学科 土木環境工学科	海洋開発(工学)科 環境開発科 環境設計工学科 建設(工学)科 構造工学科 水工土木(工)学科 土木建設工学科	海洋工学科 環境建設科 建設環境工学科 建設工業科 資源開発工学科 地質工学科 土木建築(工学)科	海洋土木工学科 環境土木科 建設基礎工学科 建設システム(工学)科 社会開発工学科 土木海洋工学科 土木地質科
02	農業土木(学)科 農業開発科 農業工学科(ただし、東京農工大学・島根大学・岡山大学及び宮崎大学以外については、農業機械学専攻、専修又はコースを除く)	生活環境科学科 農業技術学科	生産環境工学科 農林工学科	地域開発科学科 農林土木科
03	森林土木(学)科	森林工学科	林業工学科	林業土木科
04	鉱山土木学科			
05	砂防学科			
06	治山学科			
07	都市工学科	環境都市工学科	都市システム(工学)科	
08	衛生工学科 環境(工学)科	設備(工業)科 空調設備科	設備工学科	設備システム科
09	交通工学科			
10	建築(学)科 建築設備工学科 造形工学科	環境計画学科 建築第二学科	建築工学科 住居科	建築システム科 住居デザイン科
11	緑地(学)科 緑地工学科 造園(学)科 造園緑地科	環境緑化科 緑地土木科 環境造園科 造園林学科	環境緑地科 林業緑地科 造園工学科 造園デザイン(工学)科	緑地園芸科 造園土木科

橋梁点検技術研修会受講申込書

(公財)青森県建設技術センター 理事長 殿

私は、「橋梁点検技術研修会受講申込書」の記載事項が事実であり、
正確であることを誓約します。

フリガナ				※			
氏 名	印			整理番号			
生年月日	昭和 平成	年	月	日 (歳)	性別	男	女
自 宅 所	〒 —						
	本 籍 地	都道府県		電 話 番 号			
勤 務 先	住 所	〒 —					
	フリガナ 名 称						
	部 課 名 等				電 話 番 号		
最終学歴 注1	学校・学部名						
	在 学 期 間	年		月	~	年	月

注1 学校教育法(5年制)によらない専門学校、訓練校は最終学歴にはなりません。

注2 ※印の欄は記入しないで下さい。

橋梁点検技術研修会写真票

フリガナ			
氏 名			

受講番号	※
------	---

写真添付欄 たて3.0cm よこ2.4cm 1.全体に糊付けして 下さい。 2.はがれる恐れがあ りますので、裏面に氏 名を記入して下さい。
年 月 日 撮 影

出欠状況確認欄		
第1日目	午前	※
	午後	※
第2日目	午前	※
	午後	※
第3日目	午前	※
	午後	※ —
※		

実 務 経 験 証 明 書

(公財)青森県建設技術センター 理事長 殿

私は、「実務経験証明書」の記載事項が事実であり、
正確であることを誓約します。

受講番号※	
提出年月日	
氏 名	
昭和・平成	年 月 日生

年度	発注機関名	業務(工事)の名称	実施した業務(工事)内容	従事期間

注1 各年度毎に代表的な業務(工事)について記載して下さい。

注2 ※印の欄は記入しないで下さい。

平成 年度から平成 年度について、上記の通り相違ないことを証明します。

平成 年 月 日

会社の所在地

会 社 名

代 表 者 名

代表者印

平成 年度から平成 年度について、上記の通り相違ないことを証明します。

平成 年 月 日

会社の所在地

会 社 名

代 表 者 名

代表者印

橋梁点検技術研修会修了証の更新制度への移行について

青森県では「青森県橋梁アセットマネジメント運営マニュアル」に基づいた橋梁定期点検を行っており、当該業務受注者は当センターが実施している橋梁点検技術研修会修了者を担当技術者として配置することを条件としております。また、橋梁維持工事の受注者をプロポーザル方式により決定するにあたり、配置予定技術者が本研修を終了している場合は評価の対象となっております。

本研修会では学科試験及び実地試験の合格者に修了証を交付しておりますが、現在の運用制度では有効期間の設定が無く資格の失効はありません。

こうした中、平成26年に「道路の維持・修繕に関する技術基準」を定めた国土交通省令が施行され、道路橋については必要な技術を有するものが5年毎に近接目視による定期点検を行うことが道路管理者に義務づけられました。

このように新たに定められた規定や知見などを本研修会修了者に習得して頂き、評価基準の再確認、技術力の向上、点検結果の精度・信頼性の向上を図ることを目的に、今年度から橋梁点検技術研修会修了証に有効期間を設け、更新制度に移行することとなりました。

以上のことから平成26年度までの修了証を取得済の方には、下記のとおり5年の移行期間を設けますので、必要に応じて更新研修会を受講し、修了証を更新して下さるようここにご案内申し上げます。

また、当センターホームページでもご案内しておりますので、関係者への周知方について併せてお願いいたします。

記

- 1 更新研修受講対象者 平成26年度までの「橋梁点検技術研修会」修了者
- 2 更新制度移行期間 平成27年度～平成31年度の5年間
平成31年度までに受講しない場合は、現在の修了証は失効となります。
※詳細は別紙移行スケジュール参照
- 3 修了証有効期間 平成27年度研修受講の場合
新規受講者：修了証発行日～平成33年3月31日
更新受講者：平成28年4月1日～平成33年3月31日
- 3 更新研修会募集案内 平成27年10月頃を予定（センターHPでも公開）
- 4 開催予定時期 平成27年12月頃を予定（複数回開催する場合あり）
- 5 使用テキスト 橋梁点検技術研修会で配付したテキストを使用
※テキストを保持していない場合、有償(実費)で提供
- 6 県の動向 平成27年度以降の新規修了証及び更新受講修了証を保持する方が平成28年度以降の橋梁定期点検受注者の担当技術者に配置させる条件となる予定。(照査技術者は担当技術者と同等の能力を有する者。) 橋梁維持工事のプロポーザルでも配置技術者の評価対象となる予定。

平成27年6月

(公財)青森県建設技術センター

研修事務局：研修試験課

Tel 017-777-6545(代)

橋梁点検技術研修会終了証の更新制への移行スケジュール

○変更点

- ・ 5年に1回、継続的に受講してもらう更新制度へ変更。
- ・ 座学のみ。(試験と現場は無し)
- ・ 期限内に更新研修を受講しない者は修了証の失効。次回の受講は新規扱い。

○変更後の留意点

- ①更新制度スタート
H27.7 橋梁点検技術更新研修会(新規受講者用)
H27.12頃 更新者用 橋梁点検技術研修会(第1回)
- ②H28年度から青森県橋梁定期点検の受注資格に「平成27年度以降の修了証取得者」を担当技術者に配置の条件を設定予定。(橋梁維持工事のプロポーザル方式による評価も「平成27年度以降の終了証取得者」を評価対象とすることを設定予定)
- ③H26年度までの修了書取得者はH27~31年度までの間に研修会受講で修了証更新。以降、5年以内に1回の研修会受講で随時更新。5年を過ぎた場合は修了証失効。
- ④H26年度までの修了証取得者がH31年度までに受講しない場合は修了証失効。以降の受講は新規の扱い。

○移行スケジュール

